根岸（ねぎし）みつひろニュース

negishimitsuhiro.news

発行者　公明党豊島区議団　東池袋1-18-1区役所内公明控室　TEL3981-1428

2011・11月号

《ごあいさつ》

日頃からお世話になり誠にありがとうございます。豊島区議会第３回定例会が10月28日閉会。わたしは公明党を代表して9月28日一般質問を行いました。また、今定例会の決算委員会では、公明区議団から区民の皆さんからの声を様々取り上げ提案しました。第3回定例会での一般質問の概要。更に、震災復興支援として、気仙沼大島に被災者からご要望頂いた、自転車が無事送られたことなど、私の活動のトピックスをご報告します。今後とも生活者の声実現にむけ努力してまいります。

公明党豊島区議会議員　根岸みつひろ

被災地・気仙沼大島に自転車を送りました！

7月25日区内の放置自転車を再生して、気仙沼大島むけて搬送準備する

公明区議団は６月気仙沼市の大島を被災状況調査とお見舞いに訪れました。津波の恐ろしさを目の当たりにすると同時に、震災で移動手段である、車やバスの利用が困難な状況を伺い、手軽に利用できる自転車が必要であるとの要望を受けました。**根岸みつひろ**は早速、被災者の切実な声を区に届けました、その結果、7月25日に引き取り手のない区内の放置自転車を再整備し、東京都を通して50台をお送りしました。現地では通院、通学などに活用され喜ばれています。我々は、被災地の復興支援に更に取り組んでまいります。

給食食材の調査を明言、区内全公園の線量測定開始

公明区議団は、学校等給食食材中の放射性物質を心配されている保護者の皆様の切実な声を受けて、今定例会の一般質問で取り上げました。
高野区長からは、10月中旬から保育園９園、小学校９校、中学校３校において、調理後の食材を混合したものと牛乳について、専門検査機関に委託し測定すると答弁がありました。
　更に、都内でも高レベルの放射線が測定される事態を受け、区内全公園60か所、区民の森2か所、児童遊園88か所、仮児童遊園8か所、合計１５８か所において空間放射線測定を実施することになりました。測定結果は、庁舎等での掲示、区ホームページ、「安全・安心メール」等によって公表されます。

★10月28日の全員協議会では、同検査の中間報告があり、全てにおいて規制値以下・不検出だったことが報告されました。**根岸みつひろ**と公明区議団は、未来の宝である大事な子どもの生命を守る取り組みを更に進めてまいります。

実現しました！

北大塚すくすくルーム前のマンホール補修

北大塚３丁目の施設提供型保育ママ「北大塚すくすくルーム」前歩道のマンホールが破損していると、近隣の方から通報を受けてすぐに現場に伺いました。応急的にコンパネ板で覆っていましたが、地面に打ち付けた釘が飛び出て子ども達の足に引っかかりそうな状況で自転車の通行などにも危険な状態でした。関係部署と連携を取り補修してもらい、後日、交換工事が完了しました。今後も、小さなお子様から高齢者まで区民の安全・安心の確保に取り組んで参ります。

消防団として街を守る！

平成２３年度豊島区消防団点検が区立総合体育場で行われました。豊島区内の消防団は、豊島消防団が団本部以下７分団、２０９名、池袋消防団が団本部以下６分団、２２８名です。日常は生業に励み、いざ災害時には消防団として地域の住民の安全を守るという使命を抱きながら訓練をしています。今回は様々な被害状況を正確に把握してそれぞれの持ち場を団員同士で協力して対応するという訓練の様子を町会長さんをはじめとする地域の方や関係団体の来賓の皆様に披露しました。私も豊島消防団第２分団の１員として救助活動をしました。本番前に木曜日と前日の土曜日の夜間６時から９時近くまで練習しました。これからも地域の防災リーダーとして努力精進してまいります。

【公明無料法律相談のご案内】
毎月、第1第3木曜日。午後2時～。場所；区役所4F公明控室
連絡；公明控室TEL3981-1428　toskomei@a.toshima.ne.jp
根岸自宅TEL3944-8368　南大塚2-25-5
根岸メール　mitsutsu1964@yahoo.co.jp

一般質問テーマ
現場の声が届く安全・安心な街・豊島区を目指して

根岸みつひろは第３回定例会で「現場の声が届く安全・安心な街・豊島区を目指して」と題して
①今後の節電・省エネ対策について、
②コミュニティソーシャルワーク事業について、
③防災について、
④教育について、
⑤被災者支援について、提案を含めて質問しました。質問の要旨をご報告します。

防災対策について

●小中学校を使った救援センターの防災訓練で、小中学生の参加と連係を要望。区側は学校、児童生徒、ＰＴＡに積極的に働きかけ実情にあった訓練をと答弁。
●3.11を教訓にした地域防災計画の見直しの提案。区長からは被災地の状況を検証し実情に応じた見直しに取り組むと答弁しました。
●避難所一泊体験や避難所となる小中学校体育館の独立した管理と冷房化などの質問には「重要な課題として検討する」との答弁。
●震災後の被災者を支援するための「被災者台帳システム」の活用を要望。区からは、システムを活用して、都からモデル地区として指定され、都内初となる罹災証明発行訓練など積極的に活用していくと答弁。

教育について

●池袋本町地域に計画されている一体型施設について、小中一体型施設の特徴を最大限に活用するようにと要望。教育長から「小中連携プログラムを一層充実させるよう努力していく」と答弁がありました。
●学校施設は、教育の拠点であると同時に地域コミュニティ、防災の拠点であることから、学校施設改築時には、地域開放を充分考慮すべきと要望。教育長からは改築時には、地域の様々なニーズに柔軟に対応した施設整備を進めていくと答弁がありました。
●小中一貫教育連携プログラムの実現には、教職員の意識変革・スキルアップが最も重要であり、協力体制の強化を要望。教育長からは、様々な関係者の協力体制を作り教員の資質アップに取り組んでいくと答弁がありました。

被災者支援について

被災地の児童生徒との交流を！

●西巣鴨中学校地域サポートクラブでの宮城ボランティアツアーを紹介し、被災地の児童・生徒とのスポーツ交流を積極的に行うようにと要望。区長からは、「関係団体と協議しながら、被災地の児童・生徒のため前向きに検討する」と答弁されました。
●東京都の被災地応援ツアーと協調した区独自の支援を提案。区側は「至急検討する」との答弁がありました。

根岸みつひろの一般質問・インターネット放送は下記のURLにて視聴できます。ぜひご覧ください。
http://www.toshima.ne.jp/~toskomei/giji2/negishiichiran.htm

今後の節電・省エネ対策

東京初の中小クレジット活用事業

●都内中小クレジット活用事業は都内初の取り組みでもあることから、継続を要望。区側は、本年度の検証をしつつ、業務部門の支援策の柱として継続したいと答弁しました。
●　「産官学連家による家庭の省エネ診断」は省エネに役立つと評価。今後の更なる事業展開についての質問には「特に、企業との連携を広げ拡大する」との答弁がありました。

コミュニティソーシャルワーク事業

支援が必要な方へ地域で支え合い

●高齢者総合相談センターの職員とコミュニティソーシャルワーカーが連携して困難な課題を解決すべきであると要望。区側からは、更に連携を図っていくとの答弁がありました。
●区民ひろばにボランティアセンター的な要素を設けることや集合住宅内での支援者、協力者を作ることを提案。区側から「いっそう働きかけを強めていく」等の答弁がありました。
●1人暮らし高齢者等実態調査及びアウトリーチ事業を評価し、課題解決にむけ更なる取り組みを要望。区長は今後、コミュニティソーシャルワーカーが中心となり地域の中で支え合いの仕組みをコーディネイトすると答弁しました。